

# 上部消化管内視鏡検査に関する説明・同意書

独立行政法人国立病院機構 嬉野医療センター

\_\_\_\_ 様 検査日： \_\_\_\_ 年 \_\_\_\_ 月 \_\_\_\_ 日

私は、独立行政法人国立病院機構 嬉野医療センターにおける上部消化管内視鏡検査について、担当医より以下の説明を受け了解しました。消化管内視鏡検査を受けることについて、

1. 同意します
2. 同意しません

\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_ 月 \_\_\_\_ 日

患者氏名： \_\_\_\_\_

患者代理人氏名： \_\_\_\_\_

患者との続柄（ \_\_\_\_\_ ）

## 消化管内視鏡検査をうける予定の患者様へ

### 【目的】

胃、食道、十二指腸などの消化管はバリウムなどを用いたレントゲンでも検査が可能ですが、病変の早期発見や病理組織診断、適切な治療方法の選択のために内視鏡検査を行います。

### 【検査方法と注意点】

- ①嘔吐反射を防ぐためにのどに麻酔を行います。まれにこの麻酔薬によるアレルギー反応がありますので、以前に内視鏡検査や歯の治療で気分が悪くなったことがあればお申し出ください。
- ②通常消化管の動きを止める薬を注射します。緑内障、前立腺肥大、心臓病、甲状腺機能亢進症のある方は薬の使用を控えることがありますので、お申し出ください。また希望もしくは必要によって鎮静剤（眠たくなる薬）を使用することがあります。自動車、バイク、自転車などでの来院および当日の運転はお控えください。また鎮静剤を使用すると、検査後約1時間程度の院内での安静が必要となります。
- ③内視鏡挿入の際には体の細くなった部分や、曲がった部分を内視鏡が通ります。まれにのどの壁を傷つけたりすることがあります。また病変から小さな組織を採取する場合があります、少量の出血を伴います。血液をさらさらにする薬（ワーファリン、プラビックス、バイアスピリンなど）を服用中の方は必ずお申し出ください。

### 【検査後】

のどの麻酔や鎮静剤の効果が切れたら、水分や軽食を取ってかまいません。ただし、当日は飲酒や喫煙はご遠慮ください。

### 【偶発症】

当院では、皆様の安全で正確な内視鏡検査を心がけておりますが、精密な検査ほど偶発症の頻度が増加します。内視鏡検査では、使用する薬剤によるショック、鎮静剤による呼吸停止、内視鏡操作によって起こる出血や穿孔（穴があく）などが起こり得る偶発症です。その発生頻度は全国調査で0.012%、死亡率が0.0008%となっています。多くの場合、偶発症の発生を事前に予測することは不可能です。万一、偶発症が発生した場合には、外科処置を含めた最善の処置をいたします。

なお、あらかじめの予約のお時間はお伝えしておりますし、できる限りその時間帯での検査のお呼び出しをさせていただきたいと考えておりますが、緊急内視鏡検査などがあった場合には検査開始時間が遅れることもございます。ご了承いただければ幸いです。

説明した医師署名： \_\_\_\_\_

医療機関名： \_\_\_\_\_